



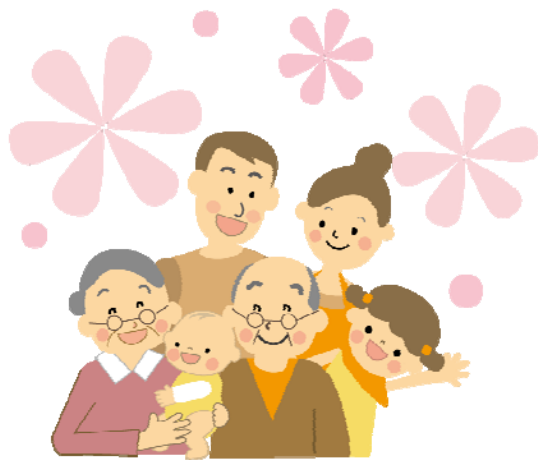
## 第81回地域けんこう講座のご案内

### 今月のお話

# 健康寿命を延ばす

～転倒や骨折をしない為に…今、自分ができる事～

健康寿命が注目されつつある昨今、転倒や骨折は他人事ではありません。より良い生活を送る為に何が必要か。何故、転倒や骨折が寝たきりを引き起こしてしまうのか。運動と合わせてお話しさせていただきます。今、自分ができる事、笑って生活を送る為に必要なことを知り、日常生活を見直すきっかけに!



当日は会場で簡単に出来る運動を一緒にやってみます。

- 日 時:平成26年9月20日(土)午後2時～午後3時頃まで
- 場 所:北福島医療センター 1階オーチャードホール
- 講 師:北福島医療センター リハビリテーション科

理学療法士 大戸明文

講演の前に、JMFハンドベルリンガーズによります、ハンドベルの演奏があります。

## CONTENTS



8月9日 雨のほばらサマーフェスティバル

第81回地域けんこう講座のご案内	1
ディオリサイタル	2
栄養科から 9月の行事食	2
第3回作業療法展	3
感染管理認定看護師の紹介	3
登録医会のお知らせ	3
皆様の声を	4

## デュオリサイタルを開催しました

8月7日(木)午後2時より、オーチャードホールにおいて、八嶋博人様、美和子様ご夫妻によりまず、ヴァイオリンとビオラのデュオリサイタルを開催しました。

世界的に活躍されているご夫妻のリサイタルは、今回で3回目となります。ご縁があって、ドイツから帰国された際には、北福島医療センターをはじめ、プライムケア桃花林、梁川病院で演奏会を開催して下さっています。音楽を通して心が一つになりたいという、美和子様のお気持ちが、十分に伝わる、素敵な演奏会となりました。



会場にお越しの約100名の入院患者様やそのご家族様、また地域の方々など、なかなか聴くことができないプロの生演奏に感動され、癒されたようでした。



アンコールの最後は、お二人の演奏で、会場の皆さんと『ふるさと』を合唱しました



## 栄養科から

### 8月の行事食は『納涼膳』を提供しました。

まだまだ蒸し暑い日が続いています。喉ごしが良く、ちょっぴり酸味の利いた、冷やし中華を食欲増進を目的に夏野菜や冷奴と一緒に提供しました。

患者様に「これが食べたかった」「出るとは思わなかった」と多くの喜びの声を聞くことができました。

リハビリになるからと話され、何度もお椀に入っている汁に麺を運んで、つけ麺にして召し上がる方や、豪快に汁を麺にかける方…食べ方も人それぞれで、とても個性的でした。

スタッフにとっても嬉しい昼食のひと時となりました。



## 第3回作業療法作品展を開催しました

8月19日～22日、オーチャードホールにおいて、第3回作業療法作品展を開催しました。

仁泉会グループの事業所でリハビリをされている患者様が、リハビリ目的で作成された作品を多くの方々に見ていただくことで、ご本人のリハビリ意欲向上や日常の生きがい作りに繋げるために実施しています。25名の患者様の47作品が展示されました。



## 感染管理認定看護師（ICN）の紹介

北福島医療センターの感染対策管理室には、感染管理認定看護師（ICN）資格を持つ看護師がおり、患者様や患者様のご家族、またお見舞いの方や職員など病院に関わる方々の感染予防や対策のために日々活動しています。今年6月には、飯沼範子感染管理室副師長が、新たにICNの資格を取得しました。求められる仕事としては、①エビデンスに基づく感染防止技術の導入 ②院内感染サーベイランス ③患者様、ご家族および医療スタッフへの感染防止教育などがあり、病院における感染予防や対策のかなめの役割を担っています。

また、感染防止対策地域連携加算を算定する医療機関として、院内の感染防止対策チームは、連携する他医療機関の感染防止対策チームと、相互に訪問し感染防止に関する評価を行ない、合同カンファレンスを年4回開催しています。



感染対策管理室  
飯沼範子 副師長

## 登録医会のお知らせ

### ●第12回北福島医療センター「開放型病院登録医の集い」

日時：平成26年11月20日（木）午後6時30分～

会場：ウェディング エルティ

講演テーマ：『全職員で取り組む感染対策』

講師：特定非営利活動法人 日本感染管理支援協会理事長

三重大学医学部附属病院 Infection Control Coordinator

東北大学医学部附属病院 感染制御 非常勤講師

土井英史先生

## 皆様の声を

当院では、皆様からのご意見・ご要望などをお寄せいただき、より良い病院作りをして参りたいと考え、正面玄関・病棟入口・各病棟談話室に「ご利用者の声箱」を設置しております。

お気づきのことがございましたら、ご遠慮なくご意見をお寄せ下さい。投稿されたご意見に関しましては、患者相談窓口で記録・保管し、関係部署に報告をして、検討、改善に努めております。

今回は、「ご利用者の声箱」にお寄せいただいたお褒めの言葉を掲載させていただきます。

（平成26年7月）

受付、看護師さん、先生、会計のスタッフの皆様とても親切な対応で、初めてで、病気の不安も大きかったのですが、とても力づけられました。ありがとうございます。

今後もしよろしくお願ひ致します。

（平成26年8月）

毎日、先生を始め、看護師さん、職員の皆様、私達（患者）に**9つのモットー**を実行していただき感謝しております。ありがとうございます。

今回、**9つのモットー**について、お褒めの言葉をいただきましたので、ご紹介いたします。仁泉会のメンバーは、地域の皆様からいただく感謝の言葉や笑顔と、自分自身の達成感や仲間からの評価を大きな励みとし、各人が仕事に誇りを持ち、組織としても個人としてもチャレンジを忘れず、大きく成長するために3項目9つのモットーを励行しています。

●挨拶をしよう、笑顔で対応しよう。

元気な挨拶と笑顔はコミュニケーションの始まりです。常にこの基本を忘れないようにしましょう。訪れた方は、患者様も利用者様もお取引先様も全て大切なお客さまです。挨拶と笑顔で迎えましょう。お客さまへの真摯な対応は安心と信頼を創ります。いつも適切な挨拶と笑顔の対応を心がけましょう。

●お客様の立場で考え行動しましょう。

迅速な対応はお客様が求める大切な要素。素早く丁寧に應對し時間がかかる時はひと声かけましょう。お客様には複数のスタッフが関わります。ひとりのミスで全体の信頼を失わないよう注意しましょう。お客様を思いやる心とそれぞれの知識や技術の向上は、お客様への責任。常に研鑽を心がけましょう。

●仲間への気配りをしよう。

仕事を頼む時、受ける時、笑顔があれば誰でもうれしいはず。溢れる笑顔で信頼をつくりましょう。助けあい励ましあい、共によく学びよく遊び、時には意見を交わしあい、強い連帯を築きましょう。後輩の教育は先輩の務めであり、愛情溢れる叱責も時には必要です。人材が育つ組織を目指しましょう。



### ●経営理念●

#### 笑顔を咲かそう。

豊かな「人間性」と、高い「専門性」で、お客様と職員の「幸せ」という花を咲かそう。

### ●ブランドメッセージ●

#### 皆様とともに

「仁泉会」は、多様な医療・介護施設を擁し、お客様の誕生から晩年までをサポートしている「公益財団法人」です。医療・介護分野としては、福島県第一号の認定であり、「地域への貢献」が評価され、信頼されている証です。私達は「豊かな人間性」と「高度な専門性」をさらに追求し、すべては、皆様の健康と幸せを創造するために、努力し続けます。

#### 北福島医療センター 理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。